

小さな自然再生のすすめ

出来ることは、たくさんある！

兵庫県立大学自然・環境科学研究所
兼)兵庫県立人と自然の博物館
三橋 弘宗

はじめに ～ 定義と事例紹介～

小さな自然再生とは？

- 自分たちで調達できる予算の範囲
- 計画や作業に様々な人が参画できる
- 手直しや撤去がすみやかにできる



ちょっとした仕掛けを確信犯的に・・・



本川と支川の連続性を
確保する施工

土のうをアンカーで
河床に固定するだけ
(水位が約2cmから10cmに上昇)

学校現場のなかに取り入れる

学校横の水路を改造する
→仕掛けを投入して成果を分析！



波及します！

①取組みが県表彰 → ②県生態系RDBに指定
→③新規分譲地の地域シンボルとして整備

学校での取り組み:加古川水系(加西市)

学校教育のなかでの勝手なとりくみ

→ただし、加西市生物多様性地域戦略にもとづく



石を並べただけの取り組み！

地域の自治会で取り組む:豊岡市田結湿地

本川と支川の連続性を確保



自治会 + 地域 + 愛好家

興味のある人が集まって湿地をつくる



豊岡市田結では、小さな自然再生が至る所で行われている

企業も加わります

民間参画：豊岡市×企業CSRの取り組み



企業の参画プログラムのツールとして有効

紹介する事例：武庫川水系羽束川（三田市）



事



予算が限られているからこそ
ターゲットが明確に



紹介する事例：武庫川水系池尻川（三田市）



三面張り河川での生息場所確保

川の周りにも配慮：兵庫県佐用町（水路・側溝）



簡単なモルタル塗りでも十分のぼる

BIRD VIEW



■ 広域計画
・生態系評価
・プランニング

BUG WORKS

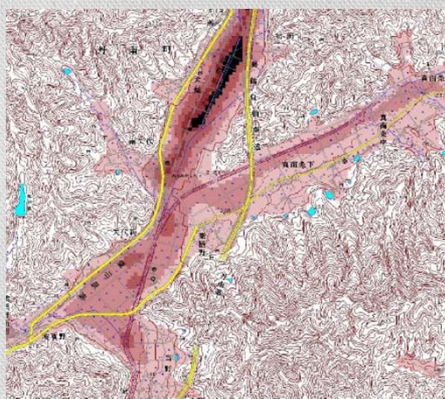


■ グランドワーク
・モニタリング
・保護区の設定
・小さな自然再生



袋詰め玉石で狭窄させて、合流点部分を活かす

戦略はあったほうがいい！（武庫川水系）



二枚貝とタナゴの
生息適地図



袋詰め玉石投入による
デフレクターの形成



まとめ : できることはたくさんある

- 手軽さゆえに、様々な実施体制がありそうだ。
→法定計画から自主事業、教育PGまで
- 行政の緩やかなサポートが重要だろう
- 効率的な場所の選定や計画論があると、より実現性や合意形成に役立つ
- 生態系のしくみを知ることが大切

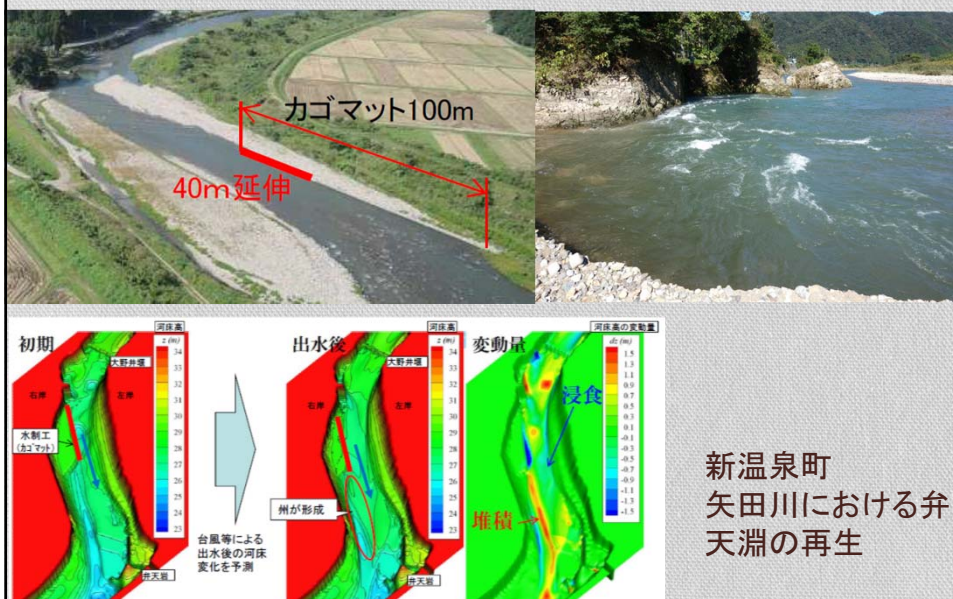
副次的な効果が生まれやすそうだ！

ちょっと強引な淵の形成事例



根固めブロックの放置

ちょっと強引な淵の形成事例



新温泉町
矢田川における弁
天淵の再生

ちょっと強引な淵の形成事例



ちょっと強引な淵の形成事例



護床ブロックの設置